

運転代行フロント

front

つかちゃん代行(栃木県真岡市)は2016年8月の開業から間もないが、固定客を確保するなど経営は軌道に乗っているようだ。塚越拓代表は「人材のおかげ。人が人を築いてくれる」と分析。従業員を大事にして飛躍を目指す。

31歳で独立し、現在33歳。正社員4人を含め17

つかちゃん代行(栃木・真岡市)



随伴車の横で塚越代表。全車に料金メーター、ドラレコを導入している

従業員第一に飛躍目指す

人を雇い、随伴車は4台には同市内に事務所を構保有する。宇都宮市を主え、随伴車も10台に増や軸に営業展開し、将来的にしたい意向。

接客面では「一人一人のお客を大切に、日々の積み重ね」を重視する。ドア開けサービスや顧客車を丁寧に扱うこと、気配りを心がけている。「人を紹介してくれたら、教わることもあったりする」と感謝を忘れな。集客サービスも積極的に、ポイントカードを発行し、10回利用で500円割り引いている。飲食店には料金200円引きクーポンを配布している。代行業界に参入したのは、同級生が飲酒運転事故で亡くなったのがきっかけ。全国運転代行協会(栃木県支部(板橋勇二支部長)に所属し、飲酒運転撲滅に向けた啓発活動に汗を流す。「それで、飲酒運転はなくならない。事故を起こして初めて事の重大さに気づくよ」と嘆く。

違反事業者を国土交通省へ知らせる「通報制度」の担当に任命され、適正化活動にも参加する。普段の営業でも違反者が目につくことで、行政が実態に目を向けてくれれば」と意気込む。